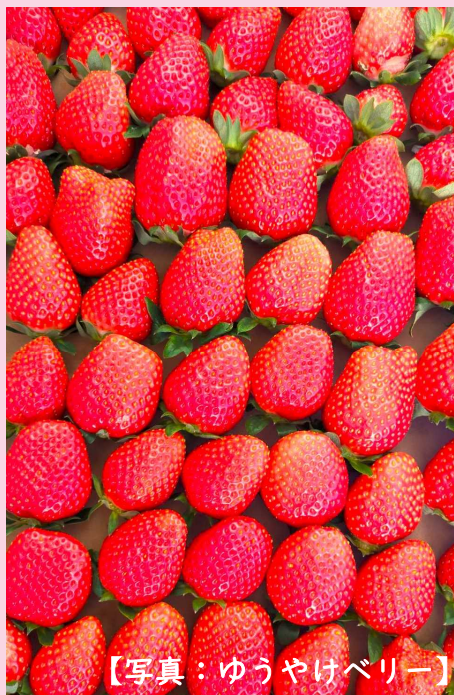


県中農林ニュース

ひとつ、ひとつ、実現するふくしま

第35号
令和6年3月22日
編集・発行
県中農林事務所



【写真：ゆうやけベリー】

ゆうやけベリーとは？

開発に10年もの月日かけた
福島県のオリジナルいちご品種です。

大粒で、甘みが強く、酸味が控えめなのが特徴です。
食べると口いっぱい幸せが広がり、明日への希望を
感じてほしい、そんな願いが込められたいちごです。



- 農林関係の動き P1～9
- 新規採用職員紹介 P10
- 頑張る農林業者 P11
- お知らせ P11～12

特集 ゆうやけベリー販売促進フェアに行ってきました！【須賀川農業普及所】

1月20日（土）、^{たまがわたくしあや}玉川高島屋（東京都世田谷区）で「ゆうやけベリーの販売促進フェア」が農産物流通課主催で開催されました。

須賀川市内の生産者は場で栽培された大粒のゆうやけベリーが「^{プレミアム}PREMIUMゆうやけベリー」としてお披露目されました。また、^{うちぼり}内堀知事と俳優の^{ふじたともこ}藤田朋子さんとのトークセッションでは、藤田さんから「ジューシーだけど水っぽさがなく、果肉に甘さがギュッとつまって、大きくてお値段の価値があるおいしさ」とのコメントをいただきました。

須賀川農業普及所管内では、令和6年度に17名の生産者が栽培予定です。



【PREMIUM ゆうやけベリー】



【【^{わらくべにや}和楽紅屋】PREMIUM ゆうやけベリーの米粉ロールケーキ】



【玉川高島屋地下1階 サンプルッシュ売り場】

令和5年度食品表示法研修会を開催しました！

【企画部】

11月29日（水）に須賀川市市民交流センター^{テッテ}において、「令和5年度食品表示法研修会」を開催しました。

農産物の加工グループや直売所関係者、直販を行う農業者の方などを対象に、食品表示について理解を深めていただくことを目的として毎年開催しているもので、当部の^{ぐんじ}郡司主査から名称・原材料名・原産地表示等の「品質事項」について、^{いわさき}県中保健福祉事務所の岩崎主任主査からアレルギー・賞味期限等の「衛生事項」について、^{たむら}県中保健福祉事務所の田村主任栄養技師から栄養成分表示等の「保健事項」について説明しました。受講者の皆様が加工・販売を行うにあたっての一助となりますことを期待いたします。



【研修会の様子】

「第3回県中地方おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを開催しました

【企画部】

県産農産物の消費拡大及び地産地消を推進するため、「第3回県中地方おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを実施しました。

今回は、11月30日（木）に農産物直売所^{あいじょうかん}愛情館（郡山市）で、ライシーホワイト2名と県職員で県産米をPRし、県オリジナル米「福、^{ふく}笑い」を約170名に試食していただくとともに、アンケートに回答いただいた約300名に「福、^{ふく}笑い」や県産米を使った6次化商品をプレゼントしました。

「福、笑い」について来場者からは、初めて食べたがとてもおいしい、たまに購入しているが新米はさらにおいしいとの声が聞かれました。

アンケートの結果、県産農産物の購入頻度が週1回以上の方が8割以上、県産農産物は新鮮でおいしいとのイメージを持っている方が7割以上となり、県産農産物を肯定的に捉えていることが分かりました。



【試食の様子】



【会場の様子】

おいしいお米いただきます！郡山市立西田学園の児童が収穫祭をしました！

【農村整備部】

12月6日(水)、郡山市立西田学園5年生児童29名及び3年生児童44名が、収穫祭を行いました。

児童は、「ふくしまの農育」推進事業により、自分たちで田植えから収穫まで体験したお米でおにぎりを作り、味わいました。

児童からは「自分たちで育てたお米なので、いつもよりもおいしく感じた。」「作物は、育てる人がたくさんの工夫や努力をしているので、大切にしなければならないと感じた。」などの感想があり、地元農家の皆様とともに一連の農作業を体験することで、農業や食について学ぶ有意義な活動となりました。



【おにぎりを味わう児童】

県中地方園芸振興セミナーを開催しました。

【農業振興普及部】

「県中地方園芸振興セミナー」を12月14日(木)にJA福島さくら日和田総合支店で開催し、農業者等約150名が参加しました。

JA全農福島農業技術センターの三浦吉則氏みうらよしのりより、肥料等資材価格高騰の中、現場で関心の高い土づくりと施肥改善方法、肥料価格の動向、野菜ほ場の土壌化学性の傾向等について、また、雪印種苗株式会社しまだだいじゅの島田大樹氏からは、緑肥の施肥効果、緑肥栽培のポイント等について講演をいただきました。

参加者からは施肥設計に関する質問や意見が活発に出されました。今後も生産現場で役に立つ情報の提供に努めてまいります。



【三浦氏による講演】

森林環境学習講座を実施しました！

【森林林業部】

1月15日(月)、県立郡山北工業高等学校の建築課1年生32名を対象に、「森林環境学習講座」を実施しました。

同校ではこれまでも継続的に講座を実施していますが、今年度は林業分野の仕事への理解をより深めてもらうため、郡山市安積町にある県林業研究センターにも協力いただき、同センターや林業アカデミーふくしまの施設を活用した、林業・木材関係調査研究の取組の紹介や林業機械の操作模擬体験をしてもらいました。

生徒からは、「詳しい話を聞いたり実際に見たりと、貴重な体験ができた」、「初めて見るものばかりで楽しかった」、「今後の生活や学習にも活かしていきたい」などの感想があり、林業への理解と興味を深める講座となりました。



【森林・林業や施設概要の説明】



【高性能林業機械(ハーベスタ)のシミュレーター体験】

フレッシュ農業講座を開催しました

【須賀川農業普及所】

県立岩瀬農業高校の生徒58名を対象に1月18日(木)に石川町新屋敷の有限会社御光福園^{ごこうふくえん}芸、1月23日(火)須賀川市泉田の株式会社ジェイラップにて、「フレッシュ農業講座」を開催しました。

自社で生産・加工している農産物(いちご・米等)や生産に関する施設・機材、地域とのつながりについて各社代表取締役様より説明をいただき、職業としての農業への理解と関心が深まった様子でした。

須賀川農業普及所では、地域における農業への理解の推進に向けて継続した支援を行ってまいります。



【(有)御光福園芸代表取締役 吉田 隆氏】



【(株)ジェイラップ代表取締役 伊藤 大輔氏】

10年後の持続可能な体制づくりに向け勉強会を開催しました 【農村整備部・農業振興普及部】

郡山市石筵^{いしむしろ}地区は、自然豊かな農村地帯で標高400～600mの山間小盆地に位置し、狭小で不整形ですが、160haもの広大な農地が広がっています。農地を有効に活用し豊かで活力ある農山村の形成のため、担い手農家が中心となって将来にわたり農業を営むことができる体制づくりを目指しています。農林事務所では、農地整備事業への取組を契機として、地域と一体となって担い手組織の樹立や着実に収益を確保できる農作物の生産計画などについて勉強会を続けているところです。令和8年度の農地整備事業の着手に向け、関係機関が連携し引き続き話し合いを重ねていきます。



【R6.1.18 勉強会状況】



【R6.2.18 勉強会状況】

新しい林業現地検討会

【森林林業部】

1月26日(金)、古殿町の町有林において「令和5年度『新しい林業』に向けた林業経営育成対策・経営モデル実証事業」の現地検討会が開催されました。

この事業は株式会社サンライフが福島県林業研究センター、古殿町とともに、新たな技術を融合させた経営モデルをテーマに新しい機械の導入やICT技術による省力化、負担軽減の実証を行うものです。

本記事では、大型林業機械を紹介します。

下の左側の写真は0.45トンの建設機械をベースマシンにイタリア製の「マルチャー」という立木等を粉砕できるアタッチメントを装着した機械です。林地残材等を粉砕することで再造林効率向上、また、粉砕された切株等の木片が林地を覆うことによるマルチング効果（防草効果）及び下刈回数の削減を期待したものです。多少の表土をものともせずローラー上の金属の爪が回転することで大きな切株等があつという間に粉々^{こなごな}となるのは驚きました。



【マルチャーを装着した建設機械】



【切株や大きな枝等の林地残材が粉々
になります】

県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会を開催しました！ 【企画部】

1月24日（水）、グリーン・ツーリズムの先進事例を学び、受入れ体制を強化することで都市農山村交流を促進するため、「県中地方グリーン・ツーリズムネットワーク交流会」を開催しました。

まず、一般社団法人あぶくまエヌエスネット代表理事 ^{しんし} 進士 氏に講演いただき、グリーン・ツーリズム受入れに係る創意工夫について理解を深めました。次に、玉川村の森の駅 ^{ヨッジ} yodge施設運営責任者 ^{えんどう} 遠藤 氏に事例発表いただき、地域を巻き込んだグリーン・ツーリズムの受入れ事例について学びました。その後、県中管内の各協議会の取組状況についての情報を共有しました。

参加者は48名となり、グリーン・ツーリズム受入れの際の工夫点が分かりよかった、地域と連携した活動が参考になったとの声が聞かれました。



【進士氏の講演】



【会場の様子】

県中地方GAPセミナーを開催しました

【農業振興普及部】

「県中地方GAPセミナー」を1月26日（金）に県農業総合センターで開催し、農業者等約30名が参加されました。

GAPを活用した経営改善の優良事例として、桑折町で桃園を経営する ^{はねだゆきまさ} 羽根田幸将氏より自身の取組内容を発表いただきました。認証GAPの取組を通じて、経営上の細かい注意点等がルール化され、いざというときにも経営を持続できる礎ができたことや、首都圏の有名百貨店での販売や輸出など、新たな販路の開拓につながったこと等が紹介されました。参加者からは販路開拓等に関する質問が多く出され、認証GAPへの取組意欲の向上につながりました。

また、FGAPの審査を行うふくしまの恵み安全対策協議会の ^{きむらあきのり} 木村昭則氏からは、国際基準に準拠したFGAP2022の審査ポイントについて説明いただきました。

県中農林事務所では、今年度より新たに配置されたGAP推進員やJA等と連携しながら、今後も認証GAPの取得等を支援してまいります。



【活発に質問が出されました！】

若手生産者を対象に農作業安全研修を開催しました

【須賀川農業普及所】

2月1日（木）、須賀川4Hクラブ等の管内若手生産者を対象に、農業総合センター農業短期大学校で、「農作業安全研修」を開催しました。刈り払い機やトラクター等における事故の事例や防止対策について講義を受け、その後刈り払い機を用いてメンテナンスの実践をしました。

事故が起こりやすい状況を把握すること、機械のメンテナンスで事故や故障の防止につながることを実際に作業することで理解を深めました。

参加者からは、「もっと農作業機械について詳しく学びたい」と意欲的な意見が出ました。



【研修の様子】



【刈り払い機のメンテナンスの実践】

「儲かるきゅうり栽培」を目指して！

【須賀川農業普及所】

2月6日（火）、須賀川市文化センターで、「令和5年度須賀川・石川地区きゅうり振興大会」を開催し、きゅうり生産者や関係機関等約100名が出席しました。

大会では、施設きゅうり生産者の^{たかはしじゅんいち}高橋純一氏と^{さんべいけんたろう}三瓶健太郎氏による事例発表や、株式会社^{せいわ}誠和の講演「環境制御についてのお話」で、長期安定出荷のための施設化や環境制御技術について学びました。また、ここ数年の資材価格の高騰に対応して、比較的安価で取り組める施設栽培「防虫ネット被覆栽培」について、須賀川農業普及所所長^{おおはしかねみつ}の大橋金光所長が「防虫ネット被覆栽培発秘話と産地の今後の展望」と題して講演を行い、岩瀬きゅうり産地の発展にエールを送りました。



【県中農林事務所小久保所長あいさつ】



【須賀川農業普及所大橋所長による講演】

「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」を開催しました 【農業振興普及部】

農業振興普及部では、新規就農者への現地支援活動や研修会の開催により、農業担い手の確保・育成に向けた取組を重点的に行っています。今年度も引き続き、就農から5年以内の新規就農者を対象とした巡回等により支援を行うとともに、研修会「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」を全6回シリーズで開催しました。

回数	開催日	開催内容
第1回	令和5年6月26日	病虫害防除のポイントと農薬の使用
第2回	令和5年11月27日	会計は怖くない。決算書を使った農業経営勉強会
第3回	令和5年12月6日	野菜・花き等栽培の技術（栽培の基礎からスマート農業）
第4回	令和5年12月14日	土づくりと施肥改善の考え方について・土作りのための 緑肥の使い方について
第5回	令和6年1月22日	稼げる農業に向けた経営計画の作成
第6回	令和6年2月14日	農業における雇用確保と雇用維持のために



【第5回（経営計画編）で指導農業士【第6回労務管理編での講演の様子】
が参加者にアドバイスする様子】

研修会には延べ64名の新規就農者や就農希望者が参加し、栽培技術の向上や農業経営の発展に向けて、真剣に学ぶ様子が見られました。今後も新規就農者の経営発展につながるテーマを選び、研修会を開催してまいります。

新規就農者激励会が開催されました

【田村農業普及所】

2月19日（月）に、「令和5年度田村地方新規就農者激励会」が開催されました。多くの御来賓と指導農業士等の先輩農家の皆様にご出席いただき、田村市と三春町の認定新規就農者2名を激励しました。

御来賓の皆様から地域農業の発展への期待と歓迎の言葉が伝えられると、新規就農者のお二人からは、農業を始めた経緯や地域農業に貢献したい思い、「労力の少ない農業を実践し広めたい」などの抱負が語られました。その後、参加した先輩農家と新規就農者との懇親も深められ、早くも地域に溶け込む様子が伺えました。



【農業への思いを語る新規就農者】

県中地方フラワーネットワーク「花きセリ市場見学及び講演会」を開催しました 【農業振興普及部】

県中地方フラワーネットワークの「花きセリ市場見学及び講演会」を2月28日（水）、郡山市総合地方卸売市場内郡山花き株式会社において開催しました。

県中地方の生産者、花き利用施設、生花店、関係機関から28名が参加し、競りを見学した後は、郡山花き(株)の熊田幸一氏くまだこういちから花き流通における2024年問題や花き類の地産地消に向けた現状と課題について講演をいただきました。

熊田氏からは、「地方市場では、中央市場と比較して需要と供給のバランスをとることが難しい面もあるものの、事前に産地から出荷の情報提供を受けることで、量が多くても販売先を見つけることは可能。これからは地産地消を進めるためにも県中央に位置する市場の流通を増やしたい。また、生産者は他産地の出荷物を見ると勉強になるので、頻繁に市場見学に来て欲しい」と県産花きへの思いを熱く語っていただきました。

*県中地方フラワーネットワークとは、地元の花きの認知度向上の取組や地域内及び県内での花き利用推進に向けて、県中地方の花き関係者で検討を行う組織です。



【熊田講師による講演】



【参加者による活発な質疑】

工事安全パトロールを実施しました

【総務部、農村整備部、森林林業部】

2月29日（木）、郡山市三穂田北部地区みほた及び須賀川市森宿地区もりじゆくのほ場整備工事現場において今年度2回目の「管内工事安全パトロール」を実施しました。

発注者の県中農林事務所と参加業者計15名が参加し、施工業者から工事概要の説明を受けた後、現場の安全管理について各自点検を行いました。

点検後、参加者全員で良好点と改善点について確認し合い、今後の安全管理に生かすとともに、年度末に向けて労働災害防止に一層努めていくこととしました。



【現場打合せ状況（森宿地区）】



【水田整地工事現場の点検状況（三穂田北部地区）】

新規採用職員紹介～1年を振り返って～

総務部

主事 たきぐち みさき
滝口 未彩希



【ふくなかすい一つの
「ひと味」「芋につき」】

慣れないことばかりで確認や相談の繰り返しですが、自分にできることを増やしていけるよう頑張ります。写真は、最近いただいた「ふくなかすい一つ」です。優しい甘さでとても美味しかったので、ぜひ召し上がってみてください。

農業振興普及部

技師 なかぐき れん
中岫 廉



本年度はたくさんの人に支えられ、様々なことを学びました。

畜産担当ということもあり、体力もついた一年でした。来年度は自分自身をもっともっとスキルアップさせ、地域農業のさらなる活性化を目指して頑張ります。

農業振興普及部

技師 まつおか けいと
松岡 慶都



果樹を担当しています。

この一年間、先輩職員に支えられながら初めての普及活動を学ぶ日々でした。来年度も継続して専門知識・技術の習得を目指すとともに、郡山の果樹生産振興のお役に立てるよう、積極的に産地へ足を運んでまいりたいと思います。

田村農業普及所

技師 あさひ ふみあき
旭 文暉



一年間、普及員として稲作栽培指導等の仕事をする中で、様々な楽しい事や大変な事を経験し着任したときより少し成長できたと思います。

まだ知識も経験も足りないので先輩職員に追いつけるよう、真剣に業務に取り組みます！写真は水稻指導会デビューの様子です。

須賀川農業普及所

技師 あんどう ゆうま
安藤 優真



果樹に関わることは初めてで、分からないことも多い状況でしたが、先輩方のご指導のもと、様々な経験を通して学ぶことができました。これからも数多く現場に出ることで、成長していきたいと思っています。

須賀川農業普及所

技師 こやなぎ ほなの
小柳 穂奈乃



畜産を担当しています。普及での仕事はわからないことばかりで、いろいろな方々に勉強させてもらっています。

福島のおいしさが牛^{ぎゅう}と詰まった牛肉や牛乳を、多くの人に味わってもらえるように日々努めていきます！よろしくお願いします！

頑張る農林業者さん

★郡山市 有限会社アグリサービスあさか野 ^{すずきたかひろ} 鈴木隆弘さん★

鈴木隆弘さんは平成27年に有限会社アグリサービスあさか野に取締役として入社しました。会社では、令和5年度現在水稻を約66ha、大豆を約24ha作付しており、今後も高齢等により農業ができなくなった方の農地を借り受け、経営を拡大することを計画されています。

また、鈴木さんは令和4年から郡山市青年農業士会の会長を務めており、地域の若手農業者と熱心に情報を交換しながら、自身の農業経営に活かしています。会社の経営に当たっては、大型機械や農業用ドローン等をいち早く導入し、作業の効率化を図っているほか、環境負荷低減の取組の実施、「^{ふくわらい}福、^{あさかまい}笑い」や「ASAKAMAI887」等のブランド米の生産に取り組むなど、果敢にチャレンジを続けています。



おらせ

山火事にご注意を！！「忘れない 山の恵みと 火の始末」



空気が乾燥し、風が強い日が多い春は、山火事が発生しやすいことから3月から5月上旬までを山火事防止強化期間としています。

令和5年中に、県中管内で発生した山火事（林野火災）26件のうち、約58%にあたる15件が3月から5月にかけて発生しており、出火原因のほとんどがたき火など人為的なものです。

一人ひとりの注意が多くの山火事を防ぐことにつながります。枯れ草など燃えやすいものがある場所でのたき火、強風時及び乾燥時の火入れ、たばこのポイ捨て、火遊び等は絶対に行わないようにお願いします。

山火事予防運動実施中
主催：林野庁・消防庁

【山火事予防啓発ポスター】

お知らせ 田村市産くさそてつ（ごみ）の出荷制限解除

令和6年2月15日（木）に、田村市で産出される「くさそてつ（ごみ）」の出荷制限が解除されました。

なお、田村市産のくさそてつ（ごみ）の出荷を希望する生産者の方は、生産者台帳に登録し、県のモニタリング検査を受ける必要があるため、下記まで連絡をお願いします。



【くさそてつ（ごみ）】

県中農林事務所森林林業部林業課 電話 024-935-1367

お知らせ きのこ、山菜の出荷制限について

県中地域産の次のきのこ及び山菜については、緊急時モニタリング検査の結果、食品衛生法の基準値（100ベクレル/kg）を上回る放射性物質が検出され、国から出荷制限等が指示されていますので、出荷しないでください。（令和6年2月15日現在）

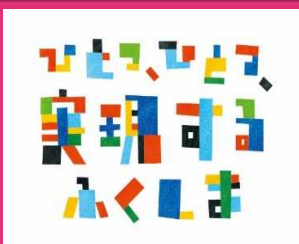
品 目	制限内容	市 町 村
野生きのこ	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
こしあぶら	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
原木しいたけ(露地)	出荷制限	田村市（福島第一原子力発電所から20km圏内の地域に限る）
ぜんまい	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市
うど(野生)	出荷制限	須賀川市
たらのめ(野生)	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、古殿町
くさそてつ(ごみ)	出荷制限	郡山市、三春町
たけのこ	出荷制限	郡山市、須賀川市、田村市、天栄村、三春町

※出荷制限品目等については最新の情報を確認してください。

詳しくはこちら <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>

※野生の山菜・きのこ・樹実類及び栽培わらびを出荷できる地域において、出荷をされる場合は事前に生産者登録する必要がありますので、森林林業部林業課にご連絡ください。

※野生きのこのうち、まつたけ、なめこ、ならたけ、むきたけの出荷を希望する場合には、別途問い合わせください。



お問い合わせはこちら

【編集・発行】

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

